

図書館情報学橋会会報 第20号(通号26号)

2016年10月発行

発行者 図書館情報学橋会

素晴らしき先輩達の心意気を繋いでいきたい14

半世紀をこえて書店・出版社を応援し続ける司書 能勢仁さん

図書館情報学橋会会長 森 茜

“世界の本屋さん”700店見て歩き

今年の9月初旬、神楽坂の日本出版クラブ会館でとてもさわやかなパーティーがあった。集まったのは、出版社の社長、本の編集者、雑誌の編集長、書店の社長、等々、図書文化の世界を代表する多才な面々。パーティーの主役は能勢仁さん。丸善・ジュンク堂書店の月刊書評誌「書標＝ほんのしるべ」の表紙裏に毎号“世界の本屋さん”という写真入りの小さなエッセーを書き続けてきた人だ。随分長い連載だから、橋会会員の中にも、“能勢仁”という名に見覚えのある方も多だろう。“のせ まさし”と読む。実はこのパーティーは、能勢さんが今まで見て歩いた48か国700店の書店から45か国50書店を取り上げた「世界の本屋さん図鑑」の発行(出版メディアパル、2016年)とノセ事務所開設20周年を記念して開かれた。

能勢さんは1960年代に「書店ツアー」を始め、半世紀以上をもかけて世界各地を旅し、各国の書店を紹介する本を数多く出している。彼は、ほぼ毎年国を決めて旅行をしているが、訪問国を決めると半年以上前から準備し、その準備はその国の言葉を習得することから始めるという。巷の語学学校にない希少言語は、東京外語大の学生に家庭教師を頼むほどの熱の入れようだ。様々な民族・国情の地域を歩き、自分の口で、その国の言葉で取材しているから、短いエッセーでありながら説得力のある、類書にない臨場感に満ちているのだ。写真をパチパチ撮りまくるから、北朝鮮や中国・ロシアなどでは、しょっちゅう引かかる、北朝鮮では、あわや7日間の拘置所行きを喰らいそうになったそうだ。命がけの本屋訪問なのだ。

書肆の老舗の御曹司の転身

能勢さんの実家は、千葉東金に1805年(文化文政時代)から続く本・紙・筆等を取扱う有名な本屋だった。祖父は貴族院議員にもなったほどの名家の御曹

司だ。能勢さんは本好きが嵩じて文部省図書館職員養成所に入り、1953年(昭和28)に卒業したのだが、図書館には就職しなかった。その理由を問われて、いざ養成所に入ったら、たった1年で60単位もの授業で書誌学などを勉強する司書の奥深さに目を見開かされ、大学での勉強が不可欠だと悟り、それから慶応義塾大学を受験したのだという。

そして、大学卒業後に高校教員を経験し、その後に、実家の多田屋で書店経営の現場に立ち、再び勉強の虫に呼び起こされ、一介の本屋業を越えて、出版界や図書流通全体へと活躍し、図書流通界の指南役とまで言われるようになった。この辺の断片は、既に橋会会報第11号で紹介したところだ。

ノセ事務所の果たした本当の役割

ノセ事務所の立ち上げは1996年で、図書館情報大学の大学院博士課程開設の4年前だ。能勢事務所になってから、能勢さんは「書店万引き防止マニュアル」や「商品管理で書店は変わる」「書店員教育読本」等のハウツーものを数多く執筆しているが、森は、彼の業績はそれにはとどまらなかと考えている。彼の文章は実務家らしく殆ど全てが「一話形式」でできているのだが、夥しい石ころのようなそれらを積み上げていくと、そこから、図書文化全体を見渡す確かな能勢仁の目が見えてくる。図書館に一度も勤務したことのない司書の目が利いてくるのだ。

例えば「昭和の出版が歩んだ道」(2013 出版メディアパル)を読むと、出版文化を取り巻く社会文化史を通読するような気分になる。グーテンベルグの銀河系の末路に立つものは、IT社会の読書文化をどのように捉えるのだろうか。2020年の東京オリンピックに米寿を迎える能勢仁は、この橋会の60年以上の歴史も歩み抜いてきた。すこぶる健啖な知識欲にもえている能勢仁の次のレポートが待ち遠しい。

(橋会理事・会長 [図短特昭和40])

これからの“橘会”の活動

橘は、実さえ花さえ、その葉さえ、枝に霜降れど いや常葉の樹

(橘会の名称の由来 万葉集より)

図書館情報学橘会会長 森 茜

茗溪会を離れて独り立ちの活動を

「図書館情報学橘会」(以下「橘会」という)は、本年7月10日より、一般社団法人茗溪会支部としての活動をやめ、自主独立の団体として活動することとなった。7月10日は、まず、「一般社団法人茗溪会支部図書館情報学橘会」としての総会を開催して、茗溪会支部としての事業報告と決算を行うとともに茗溪会の支部活動をやめることを決定した。次に、茗溪会から離れた自主自立の団体としての「図書館情報学橘会」の総会を開催し、茗溪会離脱後の「橘会」の最初の総会を開催して、新定款(案)の検討を行い、それに基づく新役員の選出、新事業計画・新予算を決めた。新役員選出と新事業計画・新予算はすんなりと決まったが、実は、新定款(案)については、活発な意見が交換され、一部事項が決定にまで至らなかった。そこで、新定款の骨格部分は旧定款を踏襲していることから、未決定事項は理事会に一任され、“新橘会”をスタートした。定款の未決定事項の主な事項は、会費の額である、従来通り3,500円にするか、3,000円とするか、2,500円にするか。その他の微修正も含めて、本年中に新定款を決定して、来年の新卒業生に確実にお知らせできるようにしたいと考えている。

時代とともに変遷する同窓会

ところで、私たちの同窓会“図書館情報学橘会”は、時々、図書館情報大学の卒業生だけの集まりかと間違われることがある。しかし、この同窓会は、1921年(大正10年)創設の文部省図書館員教習所の在生たちが立ち上げた「芸草会」(うんそうかい)に起源をもって、現在の筑波大学の情報学群知識情報・図書館学類及び図書館情報メディア研究科に連なる同窓会だ。“橘会”と言う名前は、初めて学制による養成機関として図書館短大が生まれて、従来の「芸草会」の流れをくむ同窓会と統合した呼称として時の学長斉藤毅(国文学者)によってつけられたと言われている。その後、図書館情報大学の創設に伴って、「図書館情報学橘会」となり、2002年の同大学と筑波大学との統合後も引き継がれた名称だ。

筑波大学になって、14年が経つ。今では、会員1645名中234名が筑波大学の卒業だ(約15%)。役員20人中2名が筑波大学卒業生だ。

今後、もっと多くの筑波大学在校生や卒業生が私たちの活動に参加してもらいたいと願っている。

学類・研究科との密接な連携活動を願って

さて、橘会が茗溪会支部としての活動をやめて独立した活動を行う決意をした最大の理由は、会員会費を、もっと、筑波大学の知識情報・図書館学類や図書館情報メディア研究科との密接な活動に当てたいとの強い思いからである。現状では茗溪会会費3,500円中の支部活動費は350円だ。これでは、知識情報・図書館学類や図書館情報メディア研究科との密接な連携のための活動をしたいと思っても、全く資金不足である。実は、十分な活動ができない。会費の全てを、自主自立の活動に当てたいと願っている。

筑波大学 新卒業生たちに

筑波大学の卒業生にとって、卒業後の同窓生との交流の場は、多様な形で存在している。共通の専門領域について、共に学んだ学友と卒業後も情報交換・友情交流を深めることは、職業上も大いに役立つ。生涯にわたって手放したくない必須アイテムだ。「橘会」は、もともと、このような性質を持つ同窓会である。最近では、大学本部が「筑波大学校友会—同窓会サイト—」を立ち上げ、巨大な同窓会SNSの構築を図っているのだから、他学類・学群・専攻の状況もよくわかる。交流も図られる。

他方、専門分野や職業分野に関わりなく、地域に存在する筑波大学卒業生の交流の場が一般社団法人茗溪会だ。茗溪会の支部は地域ごとに作られているので、学類や専攻の異なる同地域に勤務する又は居住する卒業生との交流を図るのに適している。

「橘会」は、卒業生たちの、卒業後の情報・交流に役立つ活動を積極的に行います。卒業生諸君の橘会への参加を強くお待ちしております。

橘会ホームページをリニューアルしました

柴田 大輔

この度、2016年10月に橘会のホームページをリニューアルしました（URLも変更になりました）※¹。新ホームページのねらいは、会員と橘会あるいは会員同士のコミュニケーションツールとしての機能を拡充すること、日常的な更新やメンテナンスを容易にすることです。

今回のリニューアルのポイントは、次のとおりです。

- (1) Facebook や Twitter などの情報共有ツールを利用しやすくしました。掲載された「お知らせ」の下にあるアイコンをクリックすると、個人のアカウントを通じて他のお知り合いへもお知らせを共有できます。
- (2) 新しいシステム※²を導入してホームページの管理を行いやすくしました。「お知らせ」や各ページを手軽に更新できるため、情報を迅速に公開することができるようになりました。
- (3) レイアウトや技術的な部分だけでなく運営方法についても見直しました。旧ホームページでよくお知らせとして掲載されていた「最終講義・退官記念パーティのご案内」「訃報と関連行事」などに加え、これからは同窓生の皆様から寄せられた情

報も、今までより数多く、より迅速に「お知らせ」やギャラリーのページに掲載できるようにしたいと考えています。同期会を開催した、大学でこんなイベントに参加したなど、橘会ホームページにご提供いただける情報があれば、お問い合わせページ (<https://tachibana-kai.com/web/query/>) から詳細をご連絡くださるようお願いいたします。

今後とも、橘会会員の皆様にとって有意義なホームページであることを目指していきたくと考えております。これを実現するために、ぜひ皆様からの情報提供やご意見等をお待ちしています。

※¹ 前回のリニューアルについては、2006年3月発行の『図書館情報学橘会会報 第3号』を参照してください。

※² コンテンツ公開とウェブサイト運用のためのソフトウェア CMS（コンテンツ・マネジメント・システム）の一種である WordPress® を使用しています。

（橘会理事 しばた だいすけ [筑波大院 平20]）

新橘会ホームページ、新URL <<https://tachibana-kai.com/>>

こちらのサイトも訪ねてみてください

図書館情報学橘会 Facebook

<https://www.facebook.com/lib.info.tachibanakai/>

筑波大学同窓会サイト : 当会も筑波大学の同窓会組織として参加しています。

<https://alumni.tsukuba.ac.jp/public/meeting.html>

◆ 橘会会報やホームページにご寄稿ください ◆

同窓会・クラス会や、同窓会員・卒業生のみなさまの活動を、是非ご寄稿ください。
ホームページからお問い合わせください。

橘会ホームページ（トップページ）→ お問い合わせ（お問い合わせフォーム）

◇知識情報・図書館学類の状況：平成28年度◇

筑波大学 情報学群 知識情報・図書館学類長 歳森 敦

1) 在籍者数

H28.5.1現在

区分	人数	男女比
1年	105	38 : 62
2年	106	46 : 54
3年	117	48 : 52
4年	139	49 : 51
合計	467	46 : 54

※定員100名+3年次編入10名

2) 主専攻別人数（3年次に主専攻に配属）

主専攻	教員	3年	4年
知識科学	15	33	54
知識情報システム	16	38	29
情報資源経営	18	44	55

3) 進路状況

H28.5.1現在

進路	H26	H27
企業	53(48.6)	56(50.0)
図書館・公務員・教員	23(21.1)	21(18.8)
大学院進学	22(20.2)	28(25.0)
研究生	0(0.0)	0(0.0)
就活中	5(4.6)	3(2.7)
公務員試験等受験予定	0(0.0)	1(0.9)
フリーター	0(0.0)	0(0.0)
その他	6(5.5)	3(2.7)
合計	109(100)	112(100)

※カッコ内は比率

4) 国際インターンシップ

留学先	H27	H28
上海図書館	0	2
釜山大学	2	1
ピッツバーグ大学	1	1
合計	3	4

5) 入試志願者数

区分	定員	H26	H27	H28
AC	5	18(3.6)	18(3.6)	19(3.8)
推薦	20	23(1.2)	45(2.3)	44(2.2)
前期	60	172(2.9)	168(2.8)	151(2.5)
後期	15	119(7.9)	119(7.9)	109(7.3)
全体	100	333(3.3)	350(3.5)	323(3.2)
編入	10	48(4.8)	46(4.6)	37(3.7)

※カッコ内は倍率（志願者数/定員）

6) 異動

○退職 2016.3.31

毛利 るみこ（寄附講座）

鷲頭 美央（寄附講座）

7) その他

平成28年度の図書館情報学海外研修助成では学類4年次の三島悠希さんが採択されました。また、9月までの半年間で、情報学群とベネッセによる海外語学研修事業へ1名、大学によるその他の短期語学研修へ4名が参加しました。学類生の海外への関心を高め、この種の活動への支援を強めたいと考えています。

「図書館情報大学3期生卒業30年同窓会」を開催して

木村（旧姓中山）朋子

2016年7月9日、私たち図書館情報大学3期生は卒業30年を記念して、東京秋葉原のアキバプラザで同窓会を開催しました。

開催に向けて、まずは、卒業生の連絡先をつかむことから始めました。日程だけは早めに決め、2002年刊行の同窓会名簿、SNS、年賀状、メールを使って、友達から友達に連絡をとってもらい、最終的に連絡がつかなかったのは14名だけでした。そして、当日は山本先生、植松先生、石塚先生、松本先生を含めて53名が参加できました。

開会してみると、50歳を超えたおじさんおばさんたちが、会ったとたん「〇〇ちゃん」「〇〇くん」と呼びあい、時間は30年前に戻ったようでした。スクリーンで懐かしい写真を映してクイズを行いました。写真にまつわる貴重なエピソードを先生からお伺いでき、楽しい時間を過ごしました。

受付で、公開の同意を得た人たちには名簿に連絡先を記入してもらい、コピーをお持ち帰りいただきました。この名簿を使って、今後、各地でミニ同窓会を開催し、つながりの輪を持ち続けてもらえればと思っています。



そして「また集まろう」と話しながら、あっという間に同窓会はお開きになりました。グループに分かれて、2次会3次会が開かれていたのは、また別の話で。

若き日に同じ時間を過ごした仲間たちが元気に頑張っている姿を見ることは、日々の力の基になります。

4期生、5期生そしてそれ以降の卒業生の皆さんも、ぜひ同窓会を開催することをお勧めします。早くから連絡先を確認しあっておくことが、盛会の秘訣だと思いますので、今から準備をしておくといいですよ。

(きむら (なかやま) ともこ [図情大 昭61])

◇ 会員現勢 ◇

1. 会員数

1,645名（平成28年8月1日現在）

2. 卒業校別内訳

卒業校	人数	卒業校	人数
文図教習所	1	図大図情専	11
文図講習所	49	図大図情	531
国図附養	1	図大図情修	17
文図養成所	64	図大博前期	11
文図養成A	153	図大博後期	1
文図養成B	52	筑図	145
文図養成1B	3	筑博図情修士	3
文図養成2B	9	筑博図後期	3
図短付養成	20	筑博図情前期	4
図短特養課	115	筑知図	78
図短図書館	295	筑図情	2
図短文献情	77	合計	1,645

平成 28 年度 総会の記録

〈日時〉平成 28 年 7 月 10 日 (日)
〈会場〉筑波大学東京キャンパス文京校舎 320 講義室
〈出席者〉理事・監事を含め、18 名

茗溪会支部 図書館情報学橋会 第 14 回総会

〈総会議事〉

(1) 総会成立の確認

・会則改正に関わる議案を扱うため、会員総数の 30 分の 1 以上の議決権の出席、総会の 3 分の 2 以上の賛成が必要。

・7 月 10 日現在の会員数 1,652 名。出席者と議決権行使を合わせ計 171 名。3 分の 2 以上は 56 名以上で要件を満たす。

(2) 植松貞夫名誉教授より来賓挨拶

(3) 橋会会則第 19 条により森茜会長を議長に選出

(4) 議事録署名者として、議長のほか、関川雅彦、柴田大輔の 2 名を指名

(5) 議事

1) 平成 27 年度事業報告及び決算報告 (別紙の通り)

2) 平成 28 年度事業計画案及び予算案

1. 事業計画 … (別項 p.7 の通り)

2. 予算案 … (別項 p.7 「参考」の通り)

以上の議案について異議なく了承された。

3) 茗溪会の支部活動をやめ、独自活動を行うことについて

1. 経緯と方向性の説明

・平成 27 年 12 月の臨時総会で、図書館情報学橋会が茗溪会支部加盟から退会する方針が示され、承認された。

・茗溪会の活動について事実誤認のお詫び・訂正。

・現在の一般社団法人茗溪会では、定款上に支部の規

定はなく、入退会は個人単位の手続きとなる。

・茗溪会の支部活動をやめることについて説明。

・橋会が茗溪会支部となった後、平成 16 年度以降の卒業生は、会員個人の橋会参加の意思確認が必要。

2. 反対意見 1 件、意見付きの賛成 1 件があったことを報告

3. 平成 28 年 7 月 10 日付で茗溪会の支部活動をやめること、今後は任意団体の図書館情報学橋会として活動することを、賛成多数で承認

(6) 茗溪会支部図書館情報学橋会の第 14 回総会を閉会

図書館情報学橋会平成 28 年度 (通算第 19 回) 総会

(1) 開会の辞

・茗溪会支部図書館情報学橋会の第 14 回総会の閉会を受け、引き続き、任意団体図書館情報学橋会の平成 28 年度 (通算第 19 回) 総会を開会。

(2) 議事

1) 会則改正案

・会則改正案が説明された。
・出席者より改正案に対し検討事項・意見が挙げられた。
・検討事項を踏まえ、会則改正案を理事会で検討することが承認された。

2) 第 7 期役員等

・第 7 期役員案 (任期：平成 28 年 7 月 21 日～平成 30 年 7 月 20 日) が報告され、承認された。

2) 今後のスケジュール

・平成 28 年 7 月 10 日付で茗溪会支部活動をやめる。
・平成 28 年秋に、総会決定内容を会員に報告、統合後の会員には橋会参加の意思を確認。
・平成 28 年度会費は、茗溪会支部として請求したため、茗溪会会費として扱う。
・平成 29 年度は、図書館情報学橋会として会費を請求。個々の会員が退会手続きをとらない限り茗溪会会員の資格は続くため、茗溪会からも会費請求が行われる。

(橋会理事 城谷浩 [図情大 昭 60])

◇平成 28 年度事業計画◇

1. 橋会の新体制に向けた検討・折衝
2. 会員の一層の拡充
3. 会報の発行
4. 全卒業生交流会「大橋会」（第 7 回）の開催
5. 公開イベントの開催
6. 筑波大学校友会及び同窓生各グループ活動との連携
7. その他

◇平成 28 年度予算 一般会計（平成 28 年 7 月 11 日～平成 29 年 3 月 31 日）◇

※茗溪会支部橋会総会で承認された平成 28 年度予算（下記「参考」）から、4 月 1 日～7 月 10 日の決算額（別紙参照）を除いた橋会の 28 年度予算である。

収入の部	
項目	予算額
繰越	8,196,588 円
会費	322,720 円
維持費	166,130 円
寄附金	63,850 円
補助収入	0 円
雑収入	19,882 円
小計	572,582 円
収入合計	8,769,170 円

注：特別会計は大学側からの要望により支出するため、予算はありません。

支出の部	
項目	予算額
広報費	0 円
印刷製本費	206,573 円
通信費	177,519 円
貸借費	33,745 円
大学支援費	100,000 円
茗溪会本部会費支払い	567,000 円
諸謝金	100,000 円
慶弔費	50,000 円
消耗品費	6,900 円
諸経費	11,120 円
支出合計	1,252,857 円
予備費	7,516,313 円
計	8,769,170 円

◇【参考】茗溪会支部橋会 平成 28 年度予算 一般会計◇

収入の部	
項目	予算額
前年度繰越	7,987,855 円
会費	662,220 円
維持費	400,000 円
寄附金	120,000 円
補助収入	0 円
雑収入	20,000 円
小計	1,202,220 円
収入合計	9,190,075 円

注：特別会計は大学側からの要望により支出するため、予算はありません。

支出の部	
項目	予算額
広報費	20,000 円
印刷製本費	400,000 円
通信費	350,000 円
貸借費	45,000 円
大学支援費	100,000 円
茗溪会本部会費支払い	567,000 円
諸謝金	100,000 円
慶弔費	50,000 円
消耗品費	10,000 円
諸経費	30,000 円
支出合計	1,672,000 円
予備費	7,518,075 円
計	9,190,075 円

平成 28 年度分 会費納入のお願い

橘会会員におかれましては今年度の会費について、以下の郵便振替口座または銀行口座宛に納入くださるようお願いいたします。なお、通常会員の会費は 3,500 円です。また通常会費完納者(35 回分納入済みの方)には、橘会円滑な運営のため橘会固有の協定会費 2,000 円を維持費としてお願いしています。

(郵便振替)

口座番号 00110-5-656101
加入者名 図書館情報学橘会

(銀行振込)

ゆうちょ銀行 〇一九店 (ゼロイチキユウ店)
口座番号 0656101 預金種目 当座
口座名義 トシヨカンジヨウホウガクタチバナカイ
※「振込依頼人名」欄に会員番号の入力をお願いします。

図書館情報学橘会第 7 期役員等

(任期 平成 28 年 7 月 11 日～平成 30 年 7 月 10 日)

名誉会長

井上 哲也 (養 26[1951])
高鷲 忠美 (養 39 別[1964] 八洲学園大学)

顧問

植松 貞夫 (筑波大学名誉教授、跡見学園女子大学教授)
磯谷 順一 (筑波大学名誉教授)
中山 伸一 (筑波大学図書館情報メディア系)

会長

森 茜 (短 40 特[1965] (公社)日本図書館協会)

副会長

遠藤 茂樹 (短 51 別[1976])
関川 雅彦 (短 54 別[1979] 国立国語研究所)
寺沢 白雄 (大 59[1984] 実践女子大学)

理事

泉沢久美子 (短 50 文[1975])
大場 高志 (短 51 別[1976] 一橋大学学園史資料室)
加藤 信哉 (短 51 図[1976] 国際教養大学)
栃谷 泰文 (短 53 別[1978])

相原 雪乃 (大 60[1985] 北海道大学附属図書館)
川本 清文 (大 60[1985] 日本オラクルインフォメーションシステムズ (同))

小池 信彦 (大 60[1985] 調布市立図書館)
城谷 浩 (大 60[1985] 日外アソシエーツ (株))
茂出木理子 (大 60[1985] 東京外国語大学附属図書館)
神谷 晋 (大 62[1987] (株)シンコー)
和知 剛 (大 63[1988] 郡山女子大学図書館)
近藤真智子 (大 平 7[1995] 東京大学附属図書館)
岡田 英孝 (院 平 7[1995] 東京医科大学)
平久江祐司 (院 平 8[1996] 筑波大学図書館情報
メディア系)

柴田 大輔 (大 平 18[2006] 東邦大学)
松野 渉 (院 平 26[2014] 筑波大学附属図書館)

監事

気谷 陽子 (短 48 文[1973])
神田 茂 (大 60[1985] (株)日本経済新聞社)

2016 年 7 月 11 日現在 下線は新任

図書館情報学橘会

〒305-8550 つくば市春日 1-2 E-mail info@tachibana-kai.com
公式ホームページ <https://tachibana-kai.com/>
Facebook <https://www.facebook.com/lib.info.tachibanakai/>
発行: 2018 年 10 月 20 日